

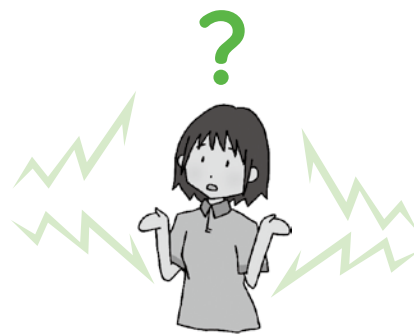
## 文字による 対話支援サポーター養成事業

▼問合せ はりまデザインラボ ☎079 (437) 0141  
Eメール harima.d.lab@gmail.com

誰一人、情報から取り残されることのない共生社会をめざして

聴覚に障がいがある人、知的障がいがある人、高齢者や子どもの中には、声（音声）よりも、文字を書いたりモニターに表示したりする方が理解し易くなり、対話に入り易くなる人がいます。

音声で文字にする支援者を増やすことで、播磨町を「誰にとっても暮らしやすい、やさしい町にしたい」と考え、対話支援サポーター養成事業として講座を開催します。



### 対話支援サポーターとは

手書き・パソコン入力・音声認識を使い分けて支援します。

支援の場合は、大きく分けて次の①②があります。

①対個人に行う支援

全文のままでは理解しにくい人には、ポイント（会話の要点）を示して支援します

②対多数の人への支援

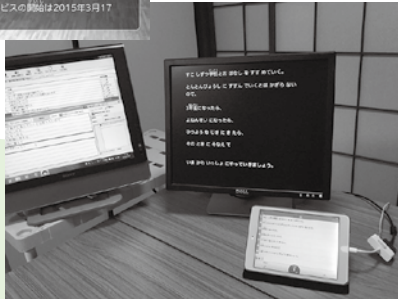
研修会（映画での字幕の作成）など、講師の声（セリフなど）を文字にして、会場にいる人全体に対して投影する対多数の人への支援

受講後は、播磨町内で対話支援サポーターとして活動します。

### あなたも 対話支援サポーターに

音声で文字にする際、音声認識アプリを利用します。講座では、複数のアプリを使い分ける技術を習得することをめざします。対話支援サポーターとしてはもちろん、多言語に対応したり、議事録作成のスキルが上がり活躍できる場が広がります。

対話支援サポーターは、主婦など、出社して働くことが難しい人もインターネットを介して活動できます。字を書くのが好きな人、パソコンを使っている人、自宅でもできる社会貢献に興味がある人におすすめです。



## ー 健やかな支援・つながる情報 ー 対話支援サポーター（第1期）受講生募集！

「手書きによる対話支援講座」（昼・夜）と「PC連係入力・音声認識講座」を開講します。どちらの講座も音声認識アプリを取り入れます。※パソコンは持ち込みで受講してください。

▶費用 無料 ▶定員 各20人 ▶申込み 事前の申し込みが必要です はりまデザインラボ ☎079 (437) 0141

●手書きによる対話支援（昼間）  
個人に対し、その人の特性に対応した対話支援を行います。文字・絵など手書きの強みを活かす支援を学びます。音声認識アプリの活用方法を学び、文字支援の幅を広げます。

▶日程 11月6日（水）、12月4日（水）、1月15日（水）、2月5日（水）  
▶時間 10：00～12：00  
▶場所 地域連携交流施設

●PC連係入力・音声認識  
研修会や地域の集会などの会場で多数の人への文字支援として、全体投影を行います。自宅のインターネット環境を活用した遠隔文字支援を学びます。また、音声認識アプリを利用する文字支援も学びます。

▶日時 11月20日（水）、12月18日（水）、1月15日（水）、2月19日（水）  
▶時間 10：00～12：00  
▶場所 地域連携交流施設

●手書きによる対話支援（夜間）  
コミュニケーションを円滑に起こさない、窓口・受付業務、接客業務など職場でも活かせる対話の方法を学びます。音声認識アプリを使って議事録を作成することも学びます。

▶日時 11月20日（水）、12月18日（水）、1月15日（水）、2月19日（水）  
▶時間 18：30～20：30  
▶場所 播磨町福祉会館

※この講座は、播磨町と協働で研究・実践を行う播磨町住民協働推進事業として、はりまデザインラボが取り組む新しいサポーター養成講座です。

## 播磨町の古民家の魅力再発見

### 文化財登録制度と身近な文化財の活用事例紹介

▼問合せ 特定非営利活動法人へりテージはりま ☎079 (437) 7862

文化財登録制度を活用して 歴史的建造物を守りませんか

播磨町にも残していきたい風景がたくさんあります

人が住まなくなった住宅の中には、地域の人々の記憶に根付き、地域らしい景観のシンボルになっている建物や、建築の専門家や歴史的文化財の研究者からみれば、希少で有意義な文化財としての価値がある建物があります。

そういった建物をゆるやかに守り、後世に価値を伝えていくために、文化財登録制度という仕組みがあります。

空き家問題がささやかれる今、住まなくなった住宅の持ち主やその近所に住む住民と、専門家が一緒に、まちの財産となりうる古民家の魅力を再発見し、それらを地域に活かす方法を考えるきっかけ作りを行いたいと考えています。

身近な建造物であっても、地域に親しまれている建物や、時代の特色をよく表したものの、再び造ることのできないものは、貴重な文化財です。この地域の宝を守り、活かすための方法をみんなで考えるフォーラムを開催します。

フォーラムの開催後、相談会や現地視察を実施しながら、古い住宅や建物についての研究活動を行います。フォーラムに参加できなくても、ご相談や情報提供のご連絡をへりテージはりままでお寄せください。

※この事業は播磨町住民協働推進事業の採択を受けて実施しています。

## フォーラム 播磨町の古民家の魅力再発見 ～文化財登録制度と身近な文化財の活用事例紹介～

▶日時 12月8日（日） 13：30～16：30（13：00受付開始）  
▶場所 健康いきいきセンター 大会議室  
▶費用 無料 ▶定員 先着120人  
▶申込み・問合せ へりテージはりま（担当 松岡） ☎079 (437) 7862

### プログラム

1) 基調講演「古き良き建物をゆるやかに守る文化財登録制度」  
▶講師 村上裕道（京都橘大学文学部歴史遺産学科教授）

2) 事例紹介  
・新野辺まちづくり協議会（加古川市）  
・旧小河家別邸の保存と活用をする会（三木市）

3) パネルディスカッション



▲大蔵家（新野辺まちづくり協議会）



▲旧小河家別邸（旧小河家別邸の保存と活用をする会）